

好調選手 どう狙う!

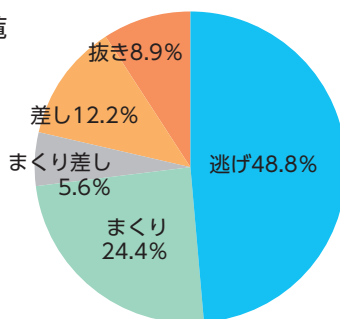


最近好調な選手の近況戦績から狙い方を考える



4544 松田大志郎(福岡)

決まり手一覧



一般戦

1月から出走表に反映される25年前期の勝率で松田大志郎が残した勝率は7・70。これはA1級選手中9位タイの高勝率で、デビュー16年目の松田にとって自己最高勝率となった。

前の期と比べると、松田の1着率は28・7%から43・7%へと跳ね上がった。新期に入ってから2節走り連続優勝と松田の勢いは止まらない。これで年

16年目の自己最高勝率!
4カドは絶対の狙い目だ!

表1 艇番別成績(23.11.1~24.10.31)

	1着率	2連対率	3連対率	回収率
1号艇	75.0%	87.5%	95.3%	72.1%
2号艇	30.8%	64.1%	89.7%	55.2%
3号艇	28.6%	42.9%	60.0%	86.8%
4号艇	39.5%	55.3%	78.9%	117.6%
5号艇	8.6%	28.6%	57.1%	47.7%
6号艇	5.0%	20.0%	45.0%	18.9%

出場予定

12/14~12/19	平和島	BTS横浜開設17周年記念
12/29~1/3	芦屋	日刊スポーツ杯争奪第55回福岡県内選手権大会
1/8~1/13	浜名湖	GYO-1グランプリ
2/10~2/15	大村	第71回九州地区選手権競走

間優勝回数6回とし、今年に引き続き来年のクラシック出場もかなり見えてきた。

松田はこれまでSGには8節出場しているが、そのうち3節で予選突破と相手を選ばない走りも魅力。16年のヤングダービーで、桐生順平や岡崎恭裕らを押さえて1号艇で優勝したのは記憶に残る一戦だった。

そんな松田の狙い所は何といっても4号艇時。過去1年の1着率は39・5%とかなり高い。回収率も117・6%と申し分なく、絶対に押さえておきたいところだ。

そして2号艇時は3連対率が90%に迫る高確率! 39走して1着12回、2着13回、3着10回とまんべんなく上位着順を取っているのが、ボックスの軸としてもってこいだ。

3号艇時は2号艇時と比べると2着、3着が減る。35走して1着10回、2着5回、3着6回。1着流しを厚めにして勝負するのが良いだろう。

5号艇と6号艇の時はやや数字が下がるので、ここは無理して手を出すことはないか。3着に押さえる程度で様子を見るくらいで十分だ。

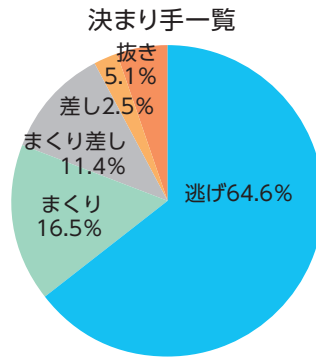
松田が優勝した翌年のヤングダービーで勝ったのは同期の中田竜太だった。通算1着数や優勝回数では中田をしのぐ松田だけに、25年は飛躍しそう。

3435 寺田千恵(岡山)



表2 艇番別成績(23.11.1~24.10.31)

	1着率	2連対率	3連対率	回収率
1号艇	71.8%	81.7%	88.7%	78.9%
2号艇	12.2%	51.2%	78.0%	51.9%
3号艇	23.4%	48.9%	72.3%	84.7%
4号艇	22.5%	55.0%	72.5%	56.8%
5号艇	0.0%	20.6%	38.2%	0.0%
6号艇	7.7%	20.5%	38.5%	48.6%



女子戦

出場予定

12/17~12/22	徳山	マクール杯争奪男女W優勝戦
12/26~12/31	蒲郡	第13回クイーンズクライマックスシリーズ
1/11~1/16	芦屋	オールレディース マクール杯
2/8~2/13	徳山	中国地区選手権

ただ1人第1回から昨年の第12回までクイーンズクライマックスに連続出場していた寺田千恵。今年、その記録が途絶えてしまったのは残念でならないが、成績を見る限りは不調に陥っているわけではない。前期の勝率は、三浦永理、田口節子、遠藤エミ、浜田亜理沙に続く女子5位(※出走数の少ない倉持莉々を除く)で、4期ぶりに7点台の勝率を残していた。まだまだ十分に主軸として狙える選手だ。

寺田の狙い所となるのは3号艇時。過去1年で47走して1着11回、2着12回、3着11回。ボックスで狙うには理想的な戦績を残している。

これが2号艇時や4号艇時になると2着が多くなる。こちらはボックスの軸というより2着の本線として狙うのが良さそう。2、4号艇時はいずれも70%台の高い3連対率を残しているが、細かく見ると違いが浮かんできるので覚えておきたい。

5、6号艇時となると、途端に勝率が下がるのも寺田の大きな特徴。1、4号艇時までは紛れもないA1級選手の勝率を残すが、5、6号艇時は4点台。ネームバリュー的にはつい買いたくなってしまいが、外枠時は外す勇気も必要だ。

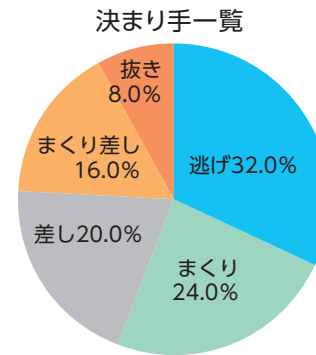
前期の勝率は女子5位
3号艇時はボックスで

5298 水谷理人(香川)



表3 艇番別成績(23.11.1~24.10.31)

	1着率	2連対率	3連対率	回収率
1号艇	81.8%	81.8%	90.9%	77.5%
2号艇	13.3%	46.7%	60.0%	67.1%
3号艇	0.0%	30.8%	53.8%	0.0%
4号艇	16.7%	41.7%	41.7%	67.5%
5号艇	12.2%	20.4%	36.7%	126.3%
6号艇	6.2%	13.8%	35.4%	49.1%



ルーキー

出場予定

12/18~12/23	児島	BTS井原開設11周年記念競走
12/30~1/3	丸亀	市長杯争奪 BOAT RACEまるがめ大賞
1/6~1/12	丸亀	市制施行20周年記念 丸亀市議会議長杯
2/4~2/9	丸亀	第68回 四国地区選手権競走

このところ中村日向や濱野斗馬など若手の有望株が続々誕生している香川支部から、また1人有望株が現れた。昨年5月デビューの水谷理人はデビュー期に2・72、2期目に3・41の勝率を残していたが、3期目となる前期は6・05と大幅に勝率を上げた。これで1月からはA2級となる。もちろん同期では最速、唯一のA級選手だ。

なぜこれほどまでの急成長を遂げられたのかというと、それまで外枠で走っていた水谷が、5月からコースを解禁したこと大きい。とはいえ、いきなり成績を残すのは難しいと誰しもが想像するだろうが、水谷には関係なかった。5月に入り始めてから10月までの1号艇時の1着率は80%を超えている。パリの1着率はなかなか残せない。水谷のイン戦は買いだ!

対して2号艇時は2着が多い。15回走って2着は5回。3回に1回は2着を取っているの、有力な2着候補として押さえておきたい。

そして5号艇時の回収率が高いが、直近6か月に限ると15走して5勝と1着率も33%に上がっている。すべて万シユール決着だったので穴党は注目だ。

3期目にしてA級に!
インの安定感は抜群だ